

## 猪苗代・東・吾妻生徒会新聞

### 猪苗代町内中学校生徒会交流会～私たちが考えた新猪苗代中学校の校章原案と込めた思い～

8 月 6 日(木)東中学校において、猪苗代町内中学校生徒会交流会が行われました。今年の交流会では、2 年後に開校する新猪苗代中学校の新校章デザインの原案を各校で持ち寄り、原案のプレゼンテーションを中心に行いました。交流会当日は暑い中でありましたが、各校熱い発表が行われました。

各校の代表者に校章原案に込めた思いを聞きました。

今まで、猪苗代中学校、東中学校、吾妻中学校の 3 校が行ってきた文化や伝統などを受け継ぎ、明るく、活気のある学校になってほしいです。(大東 洸人・猪苗代中)

3 校が一致団結をして、それぞれの伝統を受け継ぎ、猪苗代の誇りであってほしいという思いを込めました。(鈴木 俊輔・東中)

3 校それぞれの良いところを合わせた学校になり、生徒一人ひとりが 3 校の伝統を引き継ぎ、白鳥のように羽ばたいてほしいという思いを込めました。

(阿部 悠翔・吾妻中)

### 猪苗代町内中学校生徒会交流会の様子から

今回は、新型コロナウイルスの影響で、全員がマスクを着用することや、周りの人との間隔をあけるなどの対策をとりながら行いました。このような中でも、それぞれの中学校が、新猪苗代中学校のために、今できることを考え、それぞれの思いを発表し、とても有意義な時間となりました。

文責：古川 千菜（猪苗代中）



### 猪苗代中学校が考えた「新猪苗代中学校」の校章原案



猪苗代中学校では、6 月に、生徒会長から全校生へ校章デザイン案の制作を依頼しました。そして、約 20 のデザイン案が集まり、それらを生徒会役員で 6 つに精選し、再度各学級で良いと思う代表案を 1 つ決め、猪苗代中学校の代表デザインを決定しました。その結果、3 年生の案が採用されました。

デザインを考案した 3 年生に話を聞いたところ、桔梗の花言葉である「正直」と、町の木であるナナカマドの花言葉の「賢明」を組み合わせた案を考え、統合する中学校への思いとして、純粋で社会の役に立つ生徒が卒業する学校になってほしいと

いう願いを込め、このデザインにしたそうです。

私が考える新猪苗代中学校への思いは、猪苗代町内 3 校のそれぞれの伝統と、野口英世が残した「目的」・「正直」・「忍耐」の意志を引き継いでいってほしいということです。これまでずっと受け継がれてきたことを、新しい学校へも引き継ぎ、新猪苗代中学校を築いていってほしいです。

そして、猪苗代を代表する中学校として、部活動や勉強に一人一人が精一杯取り組み、成果を発揮できるように願っています。

文責：鈴木 飛翔（猪苗代中）

## 私たちが考える「新猪苗代中学校」への思い

この町の新たな中学校としてスタートしますが、猪苗代・東・吾妻それぞれの中学校の良さや伝統を引き継ぎ、みんなが誇れる学校になってほしいと考えています。

吾妻中学校では、全校生に校章デザインを考えてもらい、投票をし、校章総選挙を行いました。集まった校章には、3つの中学校の校章を混ぜてデザインしたものや、猪苗代町に関係のある木や花、山などをとり入れてデザインしたものが多くありました。総選挙上位3つのデザインと作者の思いを紹介します。

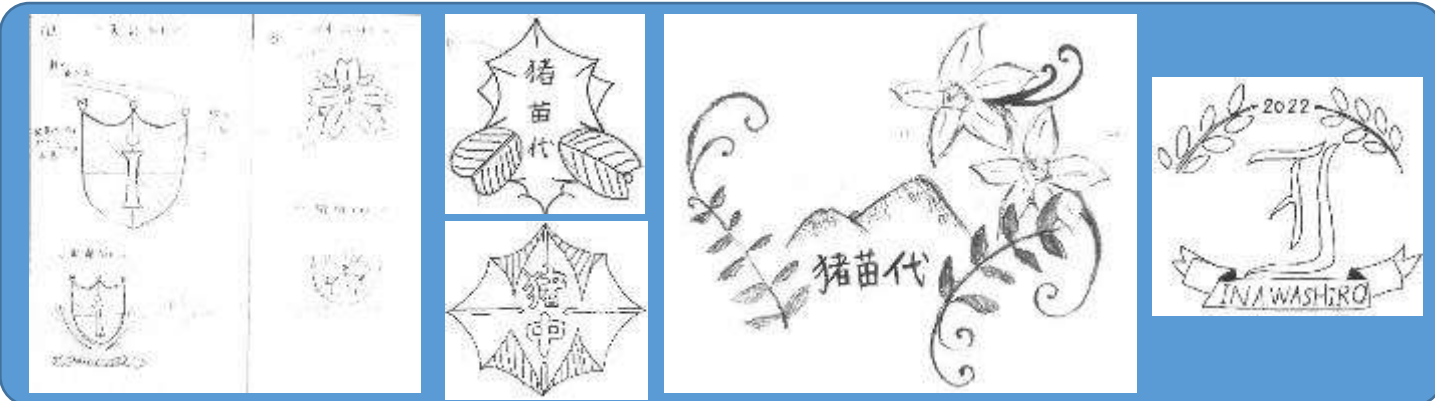
第3位	第2位	第1位
東と吾妻の校章を組み合わせ、白鳥の羽を入れたデザインにした。	今までの3校の校章とは違ったデザインで、まわりの青は猪苗代湖をイメージした。	吾妻の校章をベースにし、新たに羽ばたいてほしいという思いから白鳥の翼を入れた。
		

それぞれに、統合中学校への思いが込められています。私たち吾妻中生が考える校章や思いが、新猪苗代中学校へ届くことを願っています。

文責：齋藤瑳和・菊地未来（吾妻中）

## 東中が考えた「新猪苗代中校章」～新中学校に寄せる思いや期待～

東中学校では、全部で59個の作品が原案として生徒会に寄せられました。そして、全校投票を行い、上位5作品を学校の代表として選び、町生徒会交流会で紹介しました。



これらの作品に生徒会が込めた思いは、

- ・3校が一致団結をしてほしい
- ・3校のそれぞれの伝統を受け継ぐとともに、新たなものも取り入れて新時代を切り拓いてほしい
- ・猪苗代の誇りであってほしい

の3つです。東中は人数が61人と少ないですが、それぞれ個性豊かな作品が見られました。東中の作品を新統合中の校章に少しでも取り入れていただければうれしく思います。

文責：佐藤萌音・加藤咲良・長谷川琴音（東中）

＜編集後記＞ 今回の生徒会交流会では、2年後にせまった統合に向けて校章の原案をそれぞれ発表し合い、各校の良いところがたくさん出されました。しかし、同時に課題となる点も多く見られました。来年の生徒会交流会ではこれらの課題を改善し、統合に向けてより良いものとし、後輩たちが快適に学校生活をおくれるように最善の力を尽くしてほしいと思います。

最後に、この交流会を開催してくださった町教育委員会の方々、そして交流会に向けてさまざまな準備をしてくださった先生方に感謝し、編集後記といたします。

文責：鈴木 俊輔（東中）